

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

印刷媒体を中心とする総合情報企業として、お客様の要望に応える製品を提供し、全ステークホルダーの信頼に応える。

2 中長期の経営戦略

1. 重点商品の売上成長

可変印字・加飾技術の向上とオリジナル2次元コードを含むDX事業による付加価値創出。広域営業体制の新規構築。

2. 主力商品の競争優位性強化

印刷技術に特殊加工・可変印字を付加し、機能性・意匠性・セキュリティを高めた商品提供。環境ニーズへの対応。

3. 生産効率改善・低コスト化

生産現場のスマート化、設備改修・増強、5S活動強化による品質管理と生産環境改善。

4. 人的資本の強化

従業員の健康増進と人材マネジメントを通じた労働生産性とエンゲージメント向上。

3 対処すべき課題

① 市場環境の変化への対応

- ・紙媒体からデジタルへの移行に伴う市場変化への対応が必須
- ・印刷×DXの取り組みによる既存製品の高付加価値化推進
- ・新設備の活用による包装資材・紙器・情報機器部門の販売強化

② コスト増加への対応

- ・人手不足による物流費・人件費の上昇
- ・不安定な国際情勢による原材料価格・エネルギー価格の影響
- ・米国関税引き上げに端を発する市場動向への対応

③ 財務基盤の強化

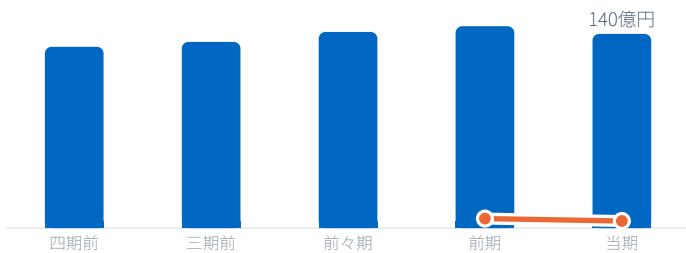
- ・収益体質の強化と自己資本向上への取り組み
- ・流動資産の適正水準管理とキャッシュ・フロー重視
- ・金融機関との良好な信頼関係の維持・発展

面接で使えるポイント

- ・2024～2026年の中期経営計画『SHINKA』で進化・深化・伸化3つの観点から企業価値向上を目指す
- ・オリジナル2次元コードなど産学連携による秘匿性の高いDX事業で付加価値を創出
- ・人手不足やデジタル化など経営環境の変化に対し、印刷×DXで既存事業の差別化を推進

証券コード 7919

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

1940年設立の印刷関連企業であり、京都に本社を置いています

主力事業・セグメント

- ・その他製品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・平均勤続21.2年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
140億円営業利益率
3.7%財務健康度
39点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 36.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
524万円

その他製品内 73位/105社

平均年齢
47.5歳

その他製品内 4位/105社

平均勤続
21.2年

その他製品内 3位/105社

女性管理職
5.9%

その他製品内 54位/83社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 野崎印刷紙業(株)【7919】：決算情報

